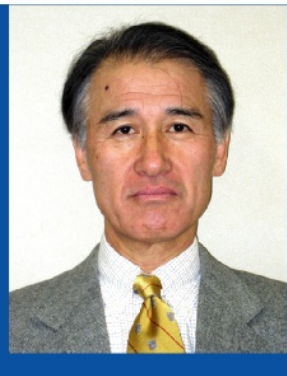


福井 敏氏
石崎産業株式会社

環境事業本部
技術本部部長 兼 生産部部长



この度、研究協力会のリエゾンサポーターリーダーを仰せつかりました、石崎産業株式会社環境事業本部の福井と申します。県内企業と県立大の橋渡し役として、富山県地域経済の活性化及び地域社会の発展のため、微力ながら2年間皆様のお世話をさせて頂きます。企業側のニーズを掘り起し、大学諸先生の持つシーズとマッチングし、成果に結びつけるには一朝一夕ではできませんが、30数年間の企業経験と数少ない大学との共同研究で得た知見が生かせればと思っています。

- 所在地 ■富山市米田町
- 取扱商品/サービス ■環境事業、パッケージ事業、植物性廃材リサイクル
- HPアドレス ■http://www.izak.co.jp

勇永 三郎氏
富山県東部シニアアドバイザーセンター
窓口専門家



1960年から2004年まで吉田工業・YKKで勤務しておりました。黒部を中心に香港、西ドイツ、北海道、滑川、九州工場とファスナー・建材の両部門の生産畑を中小企業経営的に歩いてきました。2005年からうおづ地域中小企業支援センターでコーディネーターとし、今年5月から現職に就いております。

リエゾンサポーターリーダーとしての資質は高くはありませんが、現世の悩める姿を観るとき、その責任の一端を担うべきであると考えております。大学教育の関連末端に位置して、経験ともう紙一枚の努力をもって、「花は咲けども、実のひとつだになきぞ、かなしき」ではなく、産学官連携で、健全な地域活性化の実をあげたいと思います。

- 所在地 ■下新川郡入善町入膳
- 取扱商品/サービス ■県東部中小企業向け 経営革新及び創業に対する支援

村本 昭一氏
立山科学工業株式会社
技術顧問



急速な市場の変化と消費者の多様化するニーズに対して最適な商品をいかにして生み出すかが企業の大きなテーマになっています。特に人々の意識が「物の豊かさ」から「心の豊かさ」に移りつつあり、新しい価値の創造に向けて大学と企業の連携がますます重要になってきています。

富山県立大学の産学連携の活動は年々活発になってきていますが、さらに加速するためには消費者と一緒に未来の技術や商品を考えることも必要でしょう。今後のテーマとしては、環境とエネルギー、健康と食品、安全で安心な生活などの分野が挙げられます。

富山県立大学研究協力会のサポーターリーダーとして、産学連携の活動に協力し、地域産業の発展に貢献したいと思っています。

- 所在地 ■富山市大泉
- 取扱商品/サービス ■無線機器、映像機器、電子部品
- HPアドレス ■http://www.tateyama.or.jp

横田 邦夫氏
サンエツ金属株式会社
常勤監査役



新たにリエゾンサポーターリーダーになったサンエツ金属の横田です。生まれも育ちも高岡で、富山の学校を卒業し、富山の会社に就職しそのまま貫き通している生粋の富山人です。私が社会に出たころの日本経済は右肩上がりの拡大を続けており、金融・証券業や商社がもてはやされていた時期でした。私は所謂文系人間ですが、製造業・ものづくりこそ経済の基礎と考え今の会社に就職しました。

私は、富山県が人材供給県でなく人材集中県、人材定着県となるよう、実力のある魅力的な企業が多くなることが重要と考えています。富山県立大学が地元の企業と密着してものづくり先進県を作ろうとする試みに、少しでもお手伝いできればと思っています。

- 所在地 ■高岡本社工場：高岡市吉久1丁目 砺波本社工場：砺波市太田
- 取扱商品/サービス ■伸銅品製造、黄銅棒・黄銅線製造
- HPアドレス ■http://www.sanetu.co.jp

研究協力会 会員企業紹介

I.ZAK アイザック 石崎産業株式会社

当社は昭和28年、創業者である石崎由夫が実業の造船業から木箱製造業へ業態を転換したことに始まります。時代のニーズに合わせ、木箱からダンボール製造に転換し、昭和38年に有限会社旭ダンボール工業所を設立し、パッケージの新分野を開拓しました。さらに、アルミ建材建具の加工販売を手がけ、昭和45年に組織を株式会社に変更して石崎産業株式会社を創立しました。

創立当初より、「人と自然の調和」をテーマに、21世紀に求められる循環型社会の構築を推進しています。環境事業本部では、産業廃棄物の収集運搬・中間処理・最終処分までの一貫システムによって環境負荷の低減に努めています。また、パッケージ事業本部では水に強いダンボールから、環境に優しいダンボールへと、時代の要請に応じた高性能包装材を開発。産業発展と環境保全の両立に取り組んでいます。

新しい時代の価値創造を求めて、アイザックグループは人と自然と共に歩む環境創造企業を目指しています。

【卒業生の声:丹羽 和也】

私は現在は品質管理で働いていて、主に入荷した廃棄物の荷卸しと検品を行っています。産業廃棄物を相手にしているので、物が様々で毎日が新鮮な感じがします。様々であるからこそ臨機応変に対応していくことが必要で、県立大学で学んだことを上手く利用していこうと思っています。



2003年卒業

大谷製鉄株式会社

当社はリサイクルによる鉄づくりを通じて、資源循環型社会の実現を目指すとともに、地域社会の豊かな文化創造と環境づくりに貢献できる存在意義のある企業を目指しています。特に環境問題が大きくなる現代、限りある資源と地球環境を守り、地域の発展を力強く支えていくために「人と鉄のイイ関係」を考え、技術と創意によって大きな社会的使命に応えていきます。

また、OTANIブランドは独創的な技術と品質マネジメントによって高い評価を得てきました。2004年9月には国内では2例目となるISO9001の成熟審査資格要件評価審査を受審しました。現状に満足することなく、さらに上を目指していきたいと考えております。

今後も現在のネットワークと電炉のパイオニアとしての高い技術と歴史を活かし、総合環境企業として新しい技術やサービスに取り組んでいきます。

【卒業生の声:中川 孝法】

機械力学の野村先生のゼミを卒業しました。工場見学にお伺いした際に、将来も安定して勤めることができると思い入社しました。現在は品質管理やISOの業務を担当しております。学生のころに勉強した金属や材料の知識は今でも役に立っています。今後は、大学との共同研究などを通して、私自身も県立大学に関わっていくのを楽しみにしております。



1998年卒業

株式会社 鍛栄舎

当社は、アルミニウムホイール鍛造およびマグネシウムホイール鍛造を行っております。昭和53年の創業以来「ユーザーの夢を実現する存在感ある企業」を目標に掲げ、日々邁進して参りました。デザインへのこだわり、生産設備へのこだわり、品質へのこだわり、そして人材への情熱を深く胸に刻み、存在を主張するには何が必要かを自らに問い続けて参りました。それが、新しい技術の確立にも繋がったと考えております。

現在では当社の製造したホイールがF1の12チーム中7チームで採用されております。今後も、現状に満足せず、共存共栄の経営を旨とし、豊かな社会の“夢”の実現に向け誠心誠意努力して参る所存です。

